

# 「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

N P O 法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 齊藤 隆

川に学ぶ体験活動協議会（略称R A C）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、平成20年12月現在、113団体が加入しています。

今回は平成20年9月13日・14日（・15日）に開催された「川に学ぶ体験活動全国大会」等を中心にご紹介します。

## 【第8回川に学ぶ体験活動全国大会in九州・熊本】

平成13年から続く「川に学ぶ体験活動全国大会」は、今年、熊本県熊本市をメイン会場に開催されました。今回の大会のテーマは「原点に帰る」です。

1日目の基調講演は元河川審議会「川に学ぶ小委員会」委員長の杉山恵一先生をお招きし、小委員会の答申をつくる経過から当協議会までのつながりを改めてお聞きしました。そして、「川に学ぶ社会の構築」という大きな課題の一端を当協議会が担ってきていることを再認識する機会となりました。

基調講演の後、5つの体験プログラム会場へバスで移動し、緑川と白川の魅力をじっくりと体験。かつて加藤清正公の手がけた、実に多義的な川の要素を手品のように活かした川づくりを目の当たりにするというコースもありました。白川のコースでは以前水難事故の発生した大岩をしっかりと見定め、沢山のトンボの舞う中をカヌーで下りながら、白川が



その沢山のトンボの育つ豊かな環境を有することを体感しました。緑川の河川プールはとて有名ですが、沢山の子どもが安心して泳げるだけあり、湧水も多く、なにしろ透明感にあふれ、実に水のきれいな様を痛感。台風の迫る寒空の中、思わず泳ぎ始めてしまうなどといった場面もあった様です。

1日目の締めくくりは交流会。昼間は体験プログラムの準備などで参加できなかった地元の関係者も一堂に会し、日ごろ地元の方でも味わえないような川の幸、海の幸、山の幸を肴に、川文化を存分に味わう機会となりました。それにしても熊本のお酒はどれも美味しい様で、様々な場面で未だに川と人、水と人がとても近い関係にあることを垣間見る機会となりました。

2日目の、この全国大会で恒例となっている「事例発表」では、全国各地の団体から地域づくりや教育、水難事故防止など川での様々な体験プログラムについて色々な角度から発表がありました。

そして、分科会後のパネルディスカッションでは、2日間を総括するとともに、この平成20年の夏に頻発した水難事故や最近の豪雨への対策など活発な意見交換が行なわれました。当協議会の副代表でもある新潟県見附市の久住市長からは、「人は必要とされている、愛されていることから生かされていることを実感する。その生かされている事を実感するために自然のフィールドが一番。自然体験により生かされている事を実感することは健康な心につながっていく。そういった体験をさせるためには人材が重要であり、またフィールドが必要・・・」という発言もあるなど、R A Cの5つの理念を再確認するとともに、今後の川活動の方向性を全国から集まった川仲間と共有して、閉会となりました。

来年の「川に学ぶ体験活動全国大会」は広島県広島市を主な会場にして9月5日・6日にて開催の予定です。

## 【R A Cフォーラムの開催のご案内】

平成21年1月31日～2月1日に「R A Cフォーラム」が東京で開催されます。このフォーラムでは各地域の課題を共有するとともに、「水辺のリスクマネジメント講座」や文部科学省の進める自然体験活動指導者の養成も行います。当活動の様子につきましてはHPへ掲載する予定です。

## 《川に学ぶ体験活動協議会》

東京都中央区新川2-10-6 カヤマビル703号  
TEL.03-5542-7577 FAX.03-5542-7578  
<http://www.rac.gr.jp>